

聖望学園中学校 3年 こたま のぞみ
小玉 望生

「ONE STEP SHAPES ME」

みなさんにとって「自分らしさ」とはなんでしょうか。優しいところ、明るいところ、面白いところ。私はこの問いにずっと悩んでいました。私は周りと比べて「自分は何ができるだろう。」「自分らしさってなんなのだろう。」と考えれば考えるほど分からなくなって自分を見失ってしまいました。その中で私の人生に大きな影響を与える出来事で、私は思いました。「チャレンジすること」こそが「自分らしさ」をつくるのではないかと。

今年の一月にアメリカのカリフォルニア州ブレア市に行き、ホームステイをしました。初めての海外で初めて英語で海外の人と一緒に過ごす生活に緊張と不安と同時に楽しみな気持ちもありました。行ってみると今まで見たことのない景色が広がっていました。町なかを歩いているとふと洋服に目がいてしまいました。一人一人個性あふれた服装で、真っ黒の洋服の人もいればカラフルな洋服の人もある、日本とはなにか違うものを感じました。これは私の勝手な価値観かも知れませんが、私たち日本人は特に毎日の生活の中で、“普通”や“みんなと同じ”に合わせようとしてしまうことがあると思います。学校では同じ制服、同じ時間割、同じルール。気づかないうちに「周りと違うこと」が怖くなるのです。私はどこかで「みんなと同じでなければ、ういてしまう」と自分のことを隠していたことがありました。ですが、この経験で気づいたことがあります。「自分らしさ」とは他人と違うことではなく、自分が自然にいられるということだと。時に賢く、時に厳しく、時にタフに。時にもっと強く、時にクールに。でも無理をしない。飾らない。けれど、自分が大切にしたいことは譲らない。それが本当の「自分らしさ」なのではないでしょうか。

けれどそれは、時に勇気がいることでもあります。「相手に何か思われていたらどうしよう」「何か思われていたら嫌だな」と思ってしまうとどうしても自分を隠してしまいます。すると必然的に落ち込んだり、逆に優越感をもったりすることもあると思います。ですが、私は「自分らしさ」とは、比較から自由になることでもあると思います。誰かのマネをしなくてもいい。何かになろうとしなくてもいい。ただ自分に素直になって生きること。それこそが、一番大切なことなのではないでしょうか。

私は海外に行って英語で話してみたいという思いから、ホームステイをしました。そんな思いから今私は、自分の視野が広がって、自分がやりたいと思うことは沢山チャレンジしようと思えるようになりました。日本と違う文化に触れ、沢山の方々に出会い、自分自身にとってすごく貴重で絶対に忘れない経験をしました。そして、この経験ができたのは私の家族や学校の先生、友達、そして一緒にアメリカへ行ったメンバーのおかげです。ここで私は「自分らしさ」とは自分を

信じる力であり、周りには沢山の人がいるのだということを実感しました。誰かと同じでなくていい。むしろ、自分だからこそできることがあると信じられるとき、人は一歩踏み出せます。私が今みなさんに伝えたいこと、それは、やってみたい、挑戦してみたいと思うことに、沢山トライしてみてほしい、そして自分自身を大切に、信じてほしいということです。人は新しいことに挑戦するときこそ、本当の自分と向き合うということを身をもって実感しました。今自分らしさが分からなくても大丈夫。失敗してしまっても大丈夫。だって、あなたの周りには、沢山協力してくれる人がいるのだから。自分自身と向き合おうとする心があれば、きっとあなたにしかない輝きが見えてくるはずです。自分らしくあること。たとえ一歩踏み出すことが怖くても、前を向いて歩いてみてください。それは人生を自分の足で歩いていくために、一番の力になると信じています。